

芳名録の掲載について

※大正8年から昭和22年(芳名録第30巻)まで、本館創立以来約50年間分の記名者を記載する

※記帳事項は芳名録に記録されたもので、名刺や文章、絵、歌などの状況も記す

ただし著作権に関わるような形態の絵や歌、住所が特定できる番地などは掲載しない

※備考は本館で調査した加筆事項で、図書や新聞、インターネットの情報による

※文字が不明な場合は＝で表記する

芳名録巻	来館日			氏名	記帳事項	備考 職名など本館調査によるもの
	年	月	日			
S6	1931	3	31	黒田 源治	奉天満州医科大学 参観	心理学 美術史家 日独文化協会会長 奈良国立博物館長
S6	1931	3	31	Oinuma Soroku	Okayama Ikwadaigaku	同行 生沼曹六 岡山医科大学教授兼附属図書館長 生理学 感覚生理と航空生理学の研究
S6	1931	3	31	酒井 卓造	千葉医科大学	同行 生理学
S6	1931	3	31	石川 日出鶴丸	京都帝大	同行 生理学 内臓体壁反射の提唱 三重県立医学専門学校長 731部隊所属の石川太刀雄の実父
S6	1931	3	31	久野 寧	満州医科大学	同行 生理学 発汗と体温調節の生理 名古屋医科大学教授 三重県立医科大学教授 日本ビタミン学会初代会長
S6	1931	3	31	中西 政周	京城帝大教授	同行 生理学 心理生理学 大阪医科大学教授
S6	1931	3	31	笹川 久吾	京都帝大講師	同行 生理学 京都帝国大学教授 大阪医科大学教授 分子生理学的研究の先駆
S6	1931	3	31	幸塚 嘉一	同	同行 生理学 関西医科大学教授
S6	1931	3	31	吉村 寿人	同教室員	同行 助手 陸軍技師731部隊凍傷研究 兵庫県立医科大学教授 京都府立医科大学長 神戸女子大学特任教授 日本学術会議南極特別委員
S6	1931	3	31	森井 初郎	同	同行
S6	1931	3	31	大谷 卓造		同行 助手 生理学 京都大学教授 電気生理学的研究
S6	1931	3	31	小玉 作治	熊本医大	同行 生理学 東北帝国大学助教授
S6	1931	4	1	岩崎 孫八	甲南高等学校教授	
S6	1931	4	1	石原 誠	九州帝国大学教授	同行 生理学 日本初の心電図記録 心臓の自動性研究
S6	1931	4	2	加藤 眞一	陸軍軍医学校附陸軍一等軍医	のち陸軍大佐 731部隊所属
S6	1931	4	3	浅田 英知		
S6	1931	4	3	工藤 市子		同行
S6	1931	4	3	高木 福子		同行
S6	1931	4	3	浅井 猛郎	愛知医科大学教授	解剖学 名古屋大学教授
S6	1931	4	3	岡島 敬治	慶應義塾大学教授	同行 解剖学 長崎医学専門学校教授
S6	1931	4	5	難波 光造	陸軍憲兵大佐	憲兵司令部久留米憲兵隊長 のち憲兵少将 東京、大阪憲兵隊長 朝鮮憲兵隊司令官
S6	1931	4	5	板垣 政参	九州帝国大学	生理学教授 久留米大学長代理 久留米大学附設中学校設置 黄体ホルモンの生理学的研究 陸軍大将板垣征四郎の兄
S6	1931	4	5	板垣 ますえ		同行
S6	1931	4	10	三宅 鑛一	東京帝国大学教授	医学部精神科 東京帝国大学医学部附属脳研究所初代所長 神経解剖学、実験心理学
S6	1931	4	10	阿部 政之	長崎医科大学助教授	同行 児童精神衛生学 市立札幌病院附属静療院初代院長
S6	1931	4	10	間中 綱彦		同行 大五栄養化学株式会社
S6	1931	4	10	諸井 桃二	商工省	大臣官房統計課統計官 商工省統制課長 秩父セメント社長諸井貫一の実弟
S6	1931	4	10	P.A.H.Rohling		
S6	1931	4	10	Thomas Handforth		同行 アーティスト 絵本作家 極東研究家
S6	1931	4	14	木村 潔	京都帝大医学部講師	精神科 大阪北野病院精神科長 和歌山県立医科大学教授 細菌学者木村廉の弟

S6	1931	4	14	木村 三指子		同行
S6	1931	4	14	前田 洲	長崎医大	助教授
S6	1931	4	14	野村 益三	子爵	貴族院議員 教科書調査会副会長 帝国水産会長 国語審議会委員
S6	1931	4	14	佐藤 亀八郎	宮城県農工銀行	同行 頭取 宮城県議会議員 貴族院議員 宮城県販売購買組合理事長
S6	1931	4	21	土方 久徴	日本銀行総裁	日本興業銀行総裁 金融恐慌以降の金融政策 貴族院議員
S6	1931	4	27	栗原 正	外務書記官	大臣官房文書課長 外務省東亜局長 トルコ大使 戦前の革新官僚の1人
S6	1931	4	27	島 重信	官補書記生	同行 在英大使館外務書記生 外務審議官 外務事務次官 第38回文官高等試験外交科合格
S6	1931	4	27	木村 四郎七	〃	同行 在米大使館外務書記生 大東亜省会計課長 外務大臣官房長 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	土屋 隼	〃	同行 在米大使館外務書記生 スウェーデン1等書記官 ニューヨーク総領事 欧米局長 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	河野 達一	〃	同行 在仏大使館外務書記生 サイゴン総領事 駐仏大使館参事官 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	石黒 四郎	〃	同行 在英大使館外務書記生 南京1等書記官 賠償庁次長 上海領事 サンパウロ領事 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	東光 武三	〃	同行 在英大使館外務書記生 南方事務局政務課長 阿波丸事件で死亡 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	大隈 涉	〃	同行 在米大使館外務書記生 蘇州総領事 対ギリシャ貿易特命全権大使 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	黄田 多喜夫	〃	同行 在米大使館外務書記生 大東亜省電信課長 外務省経済局長 外務事務次官 在英公使 UFOにも興味 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	吉田 賢吉	〃	同行 在独大使館外務書記生 調査局第1課長 チェコスロバキア大使館書記官 ドミニカ共和国大使 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	田付 景一	〃	同行 在仏大使館外務書記生 条約局第1課長 外務省大臣官房長 海外技術協力事業団長 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	内藤 藤雄	〃	同行 在独大使館外務書記生 ドイツ1等書記官 法務省入国管理局長 外務大臣官房長 西ドイツ大使 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	27	松井 明	〃	同行 在仏大使館外務書記生 情報局調査局長 外務大臣官房長 昭和天皇の通訳 サンフランシスコ講和会議に随行 国連大使 第39回文官高等試験外交科合格者同期
S6	1931	4	28	西川 光二郎		社会主義者 社会民主党結成発起人 日本社会党機関誌「光」発刊 大逆事件後転向
S6	1931	4	30	今松 治郎	愛知県教育課長	学務部地方事務官 和歌山、静岡県知事 衆議院議員 初代総理府総務長官
S6	1931	5	1			外国人
S6	1931	5	1	柳 宗悦		民芸運動 宗教哲学者 日本民芸館創立 朝鮮美術の収集 朝鮮民族美術館設立
S6	1931	5	1	Robert = = = = = =		
S6	1931	5	3	伊東 延吉		文部省学生部長 文部事務次官 思想局長 国民精神文化研究所2代所長 昭和初期革新官僚の1人
S6	1931	5	3	木村 善太郎		同行 文部省大臣官房体育課督学官
S6	1931	5	5	柳田 国男	五島帰途	民俗学者 農商務省官僚 貴族院書記官長 国際連盟委任統治委員 日本エスペラント学会理事 枢密顧問官 日本民族学会初代会長 国学院大学教授
S6	1931	5	9	田中 都吉	特命全権大使	国際連盟帝国事務局 外務省次官 初代駐ソ特命全権大使 中外商業新報社長 貴族院議員 電通取締役
S6	1931	5	9	暁烏 敏		真宗大谷派僧侶 俳人 大谷派宗務総長
S6	1931	5	9	暁烏 嶋		同行
S6	1931	5	11	岡部 彌太郎	立教大学教授	教育学 教育心理学 東京大学、国際基督教大学、上智大学教授
S6	1931	5	12	中西 栄作	第八高等学校教授	数学 名古屋市立女子短期大学長

S6	1931	5	16	佐々木 修予		
S6	1931	5	16	田中 橘		同行
S6	1931	5	16	竹内 善造		同行
S6	1931	5	16	中間 ==		同行
S6	1931	5	16	上条 ==		同行
S6	1931	5	16	黒川 澗		同行
S6	1931	5	16	== 太郎		同行
S6	1931	5	19	飛田 周山		鉄道省国際観光局の招き 日本画家 日本美術院五浦研究所設立 国定教科書の挿絵
S6	1931	5	19	野田 九浦		同行 日本画家 大正美術会結成 本名:野田道三
S6	1931	5	19	矢沢 弦月		同行 日本画家 日本美術学校教授 本名:矢沢貞則
S6	1931	5	19	吉田 秋光		同行 日本画家 日本画院結成 本名:吉田清二
S6	1931	5	19	山口 蓬春		同行 日本画家 日展常務理事
S6	1931	5	19	伊東 深水		同行 日本画家 浮世絵師 版画家 本名:伊東一 女優朝丘雪路の実父
S6	1931	5	19	畠山 錦成		同行 日本画家 金沢美術工芸専門学校教授
S6	1931	5	19	高木 保之助		同行 日本画家 新興大和絵会、国画院に参加
S6	1931	5	19	望月 春江		同行 日本画家 東京女子高等師範学校教授 本名:望月尚
S6	1931	5	19	岩田 正己		同行 日本画家 新興大和絵会結成 日本画院設立
S6	1931	5	19	野口 謙次郎		同行 日本画家
S6	1931	5	19	邨嶋 酉一		同行 日本画家
S6	1931	5	19	種木 主祐		同行
S6	1931	5	20	Kennith P Kiekwood	カナダ公使館秘書	国連総会カナダ代表团顧問 高等弁務官としてパキスタン、エジプト、ニュージーランドなどへ
S6	1931	5	20	一條 実孝	公爵	貴族院議員 海軍大佐 大喪使祭官長 日本善行会初代会長 大政翼賛会興亜総本部協力会議議長 国際観光委員として雲仙調査
S6	1931	5	20	鷹司 信輔	公爵	同行 貴族院議員 明治神宮宮司 鳥類学者 日本鳥学会会長 「鳥の公爵」華族会館館長
S6	1931	5	20	曾我 祐邦	子爵	同行 貴族院議員 陸軍中将 貴族院議長 日仏協会理事長
S6	1931	5	20	稲田 昌植	男爵	同行 貴族院議員 農学者 東京外国語学校、東京農業大学、日本大学教授 全日本スキ一連盟初代会長 拓務省政務次官
S6	1931	5	20	赤星 陸治		同行 実業家 小岩井農場長 三菱地所社長・会長
S6	1931	5	20	大谷 誠夫		同行 都新聞記者
S6	1931	5	20	勝田 銀次郎		同行 実業家 貿易業勝田商会創業 三大船成金の1人 神戸市長
S6	1931	5	20	新井 ==		同行
S6	1931	5	23	馬場 ==吉	京都帝大講師	
S6	1931	5	23	片岡 金吉	三菱長崎造船所	同行 三菱熊本青年学校長 三菱熊本航空機製作所副所長
S6	1931	5	26	矢島 正昭		
S6	1931	6	1	川井 章知	社会局事務官	内務省社会局社会部 中国地方行政事務局長 静岡県知事
S6	1931	6	2	奈古屋 登槌	鹿児島県立牧ノ原学校長	感化院教育
S6	1931	6	2	松尾 左馬司	滋賀県立八幡商業学校教諭 外八拾九名	
S6	1931	6	2	木間瀬 ==之	皇陵巡拝会(大阪)	
S6	1931	6	2	板田 ==太		同行
S6	1931	6	2	木村 松之助		同行
S6	1931	6	2	木村 千代		同行
S6	1931	6	2	小林 林之助		あみだ池大黒第3代社長 福おこし発売 大阪市議員 皇陵巡拝会結成
S6	1931	6	3	水谷 良一	内閣統計局	書記官労働課長内閣統計局統計官 商工省東京鉱山監督局長 日本時計協会理事長 棟方志功の理解者
S6	1931	6	3	上野 善治	長崎県統計課長	同行 知事官房地方統計主事

S6	1931	6	9	桐谷 洗鱗		日本画家 仏教画家 本名:桐谷長之助
S6	1931	6	9	山本 ==		同行
S6	1931	6	9	水野 鍊太郎		内務官僚 貴族院議員 内務大臣 朝鮮総督府政務総監 文部大臣 大日本音楽著作権協会会長
S6	1931	6	9	水野 政直		同行 元内相・文相水野鍊太郎の次男 南満州鉄道株式会社東亜経済調査局 同盟通信社 共同通信社東亜部長
S6	1931	6	9	猿丸 吉雄		同行 猿丸総本家第61代当主吉左衛門 南満州鉄道株式会社勤務 矢満喜商事社長 三光汽船取締役 芦屋市長 兵庫県議会議員
S6	1931	6	21	北原 大輔		宮内省帝室博物館監査官補 陶芸史研究家 重要美術調査委員 文化財保護委員会専門審議会委員
S6	1931	6	21	鷹巢 豊治		同行 宮内省帝室博物館監査官補 美術史家 帝室博物館美術課長
S6	1931	6	21	古賀 平八郎		同行
S6	1931	6	21	降旗 敏麿	長野県西筑摩郡大桑村須原小学校	
S6	1931	6	22	小宮 陽		大蔵省銀行局銀行検査官 関東局事務官 銀行局普通銀行課長
S6	1931	7	4	齊 =		
S6	1931	7	4	許 斌華		同行
S6	1931	7	4	陳 開瓚		同行
S6	1931	7	4	柯 瀛		同行
S6	1931	7	4	許 立非		同行
S6	1931	7	4	梁 子杰		同行
S6	1931	7	4	羅 牧		同行
S6	1931	7	4	趙 俊生		同行
S6	1931	7	4	李 洋		同行
S6	1931	7	4	張 信昭		同行
S6	1931	7	7	松村 龍雄	海軍中將	後備役 旅順要塞司令官 将官会議議員
S6	1931	7	7	井筒 調策	皇民会幹事	同行 中央義士会専務理事 赤穂義士研究家
S6	1931	7	8	伊藤 佐	熊本営林局	事務官
S6	1931	7	8	池上 小十郎		同行 属
S6	1931	7	8	日高 松樹		同行 長崎営林署技手
S6	1931	7	13	村野 次郎		歌人 日本歌人協会設立 宮中歌会始の召人
S6	1931	7	15	横山 鉦太郎		弁護士 元東京控訴院検事局検事長
S6	1931	7	15	吉益 俊次		同行 長崎控訴院検事局検事長 宮城・東京控訴院検事局検事長 シーメンス事件などを担当
S6	1931	7	18	高田 休廣		文部省社会教育局書記官青年教育課長 長崎高等商業校長
S6	1931	7	18	能澤 振次	文部省嘱託	同行
S6	1931	7	18	鎌仲 百之介	文部属	同行 社会教育局
S6	1931	7	18	新町 徳之	関西大学	同行 国語学 法文学部長 東洋哲学史の研究 樟蔭女子専門学校教授
S6	1931	7	22	三島 一	二松学舎専門学校教授	東洋史学 中国寺院経済の研究 歴史学研究会初代会長 日中友好に尽力 明治大学、専修大学教授
S6	1931	7	22	関野 岸蔵	生徒	同行
S6	1931	7	22	野田 国治		同行
S6	1931	7	22	小幡 健一		同行
S6	1931	7	22	高島 初二		同行
S6	1931	7	22	若命 豊孝		同行
S6	1931	7	22	小川 正行	奈良女子高等師範学校教授	家庭教育学 郷土教育学
S6	1931	7	22	汐見 三郎	京都帝国大学教授	同行 経済学部 財政学 兵庫県立労働研究所運営委員長

S6	1931	7	22	藤浪 得二	京都帝大医学部学生	同行 大阪大学医学部教授 皮膚・泌尿器科学 日本皮膚科学会会頭 兵庫医科大学教授
S6	1931	7	22	島本 融		同行 京都帝国大学経済学部学生 財務官僚 公正取引委員会委員 北海道銀行初代頭取
S6	1931	7	24	東 兼三	門司鉄道局鳥栖保線事務所	書記
S6	1931	7	24	塩塚 為吉	長崎市岩川町	
S6	1931	7	24	四ツ井 みき江	奈良女子高等師範学校	
S6	1931	7	29	山路 兵一	奈良女子高等師範学校 訓導	国語科 自主的自由教育の実践
S6	1931	8	7	倉橋 惣三	東京女子高等師範学校教授	兼附属幼稚園主事 児童心理学者 教育刷新委員会委員 保育学会創設
S6	1931	8	7	清水 暁昇	長崎県女子師範学校校長	同行 長野県師範学校校長 兵庫県師範学校校長 石川青年師範学校校長 金沢大学教育学部初代学部長
S6	1931	8	12	榊原 巖	福島高商教授	福島高等商業学校 消費購買組合運動 衆議院議員で女性初の司法政務次官となった榊原千代の夫
S6	1931	8	21	坂田 = 眞	広島県 = 郡 = 尋常小学校訓導	
S6	1931	8	21	山路 = 夫		同行
S6	1931	8	29	平井 泰次	海軍少佐	のち海軍少将 駆逐艦文月艦長 舞鶴港務部長
S6	1931	8	29	平井 俊枝		同行
S6	1931	8	29	北村 祥之助		同行
S6	1931	8	31	小柳 牧衛	兵庫県知事	内務官僚 青森県、福島県、長崎県知事 新潟市長 衆議院議員 文部政務次官 参議院議員 内閣委員長 外務委員長 長崎県知事としての送別
S6	1931	9	16	平野 正雄	京都帝国大学教授	工学部 工学部長 名誉教授
S6	1931	9	16	楠 宗道	長崎県土木課長	同行 埼玉県土木課長
S6	1931	9	16	安岡 正篤		思想家 陽明学 東洋思想研究所、日本農士学校創設 自民党アドバイザー 政財界、皇室との親交から昭和の黒幕と称される
S6	1931	9	18	鈴木 信太郎	長崎県知事	内務官僚 奈良県、岐阜県、山梨県、長野県、京都府知事
S6	1931	9	23	木原 清	第十二師団長	陸軍中將 東京警備司令官 南満州鉄道株式会社顧問 徳川家家令
S6	1931	9	23	牧野 正迪	同 参謀長	同行 陸軍少将 のち中將 航空本部総務部長 第2飛行師団長 浜松陸軍飛行学校校長
S6	1931	9	28	松田 竹太郎	海軍造機大佐	のち海軍技術少将
S6	1931	9	28	副島 英明		同行
S6	1931	10	2	麻生 正蔵		教育者 日本女子大学創設 学監、校長
S6	1931	10	2	梅原 信正	京都府立医大教授	細胞分子機能病理学教授 京都府立医科大学誌編集
S6	1931	10	2	上野 一晴	金沢医科大学	同行 生理学教授 金沢大学初代生理学教授 心臓研究
S6	1931	10	2	高木 耕三	大阪帝国大学教授	同行 解剖学 医学部長 岡田病院長
S6	1931	10	2	宮路 重嗣	新潟医科大学	同行 細菌学教授 新潟医科大学附属医専部教授
S6	1931	10	2	松村 肅	千葉医科大学	同行 教授附属図書館長 衛生学 細菌学 興亜院文化部長 南京大使館参事官
S6	1931	10	2	松田 金十郎	岡山医科大学	同行 附属図書館嘱託
S6	1931	10	10	前田 多門		内務大臣官房都市計画課長 東京市第三助役 朝日新聞論説委員 新潟県知事 貴族院議員 文部大臣 東京通信工業初代社長
S6	1931	10	10	鶴見 祐輔		同行 衆議院議員 内務政務次官 翼賛政治会顧問 太平洋問題調査会日本支部 参議院議員 厚生大臣 社会学者鶴見和子、哲学者鶴見俊輔の父
S6	1931			= = =		同行
S6	1931	10	10	高柳 賢三		同行 英米法学者 東京帝国大学法学部教授 東京裁判で日本側弁護団のリーダー格 憲法調査会会長 成蹊大学学長
S6	1931	10	10	浦松 佐美太郎		同行 ジャーナリスト 登山家 日本太平洋問題会に参加 東京政治経済研究所設立
S6	1931	10	10	H. M Crau = =		ベルリン
S6	1931	10	13	野田 良治	在ブラジル大使館一等書記官	フィリピン、チリ、メキシコ、ペルーなどの公使館、大使館駐在 「日葡辞典」編纂
S6	1931	10	14	彦坂 伊太郎	文部省社会教育局	労働争議研究

S6	1931	10	17	=江 久=		
S6	1931	10	17	大木 時雄		同行
S6	1931	10	17	小林 義雄		同行
S6	1931	10	17	古賀 貞雄		同行
S6	1931	10	17	森山 要治		同行
S6	1931	10	17	山県 孫一	下関百十銀行 外二十名	
S6	1931	10	28	立石 保福	大連市但馬町	
S6	1931	10	30	小野 俊一	東京	動物学者 京都大学助教授 社会運動家 日本少国民文化協会理事長 ロシア文学翻訳家 日本科学技術連盟参与
S6	1931	10	31	Shirley Jackson		シカゴ大学神学部教授 学部長
S6	1931	10	31	W.D Schermerhorn		同行 ノースウェスタン大学神学部教授
S6	1931	11	5	新渡戸 稲造		太平洋問題調査会会議日本代表団団長 元札幌農学校助教授、台湾総督府臨時台湾糖務局長、京都帝国大学教授、東京帝国大学教授兼第一高等学校長、国際連盟事務次長『武士道』欧米でベストセラー
S6	1931	11	6	Phul Scharriberg		サンフランシスコ
S6	1931	11	7	金田 平一郎	九州帝国大学助教授	日本法制史 法学部教授「犯科帳」の研究 九州帝国大学図書館長
S6	1931	11	7	松本 治彦		同行 九州帝国大学法学部
S6	1931	11	8	和仁 半治郎	岡山県津山中学校教諭	
S6	1931	11	8	和仁 勇		同行
S6	1931	11	9	政岡 嘉三郎	大阪市西区土佐堀	淡路史談会
S6	1931	11	11	九條 道秀	東京市赤坂区福吉町	公爵 貴族院議員
S6	1931	11	16	有吉 実	宮崎県知事	愛知県警察部長 尼崎市市長 13代宮崎県知事有吉忠一の弟
S6	1931	11	20	須田 勝蔵	山形県師範学校訓導	
S6	1931	11	20	齋藤 周治	山形県師範学校代用附属山形市第六小学校	同行
S6	1931	11	20	佐々木 得定	三菱長崎兵器製作所	同行
S6	1931	11	21	平田 栄二	伯爵	日本画家 東京美術学校教授 内大臣平田東助の嗣子
S6	1931	11	21	三浦 直政	東京美術学校	同行 師範科教授 別府市学校教育課長 大分県立別府緑丘高等学校教授
S6	1931			赤司 曄	佐賀県立唐津高等女学校長 外職員生徒二十五名	
S6	1931	11	23	射手矢 貞三	女子学習院教授	国文学
S6	1931	11	23	川上 實計	長崎市立高女	同行
S6	1931	11	24	原 三溪	横浜	実業家 茶人 生糸貿易 関東大震災後の横浜復興会長 古美術蒐集家 本名:青木富太郎 横浜三溪園を公開 近代三茶人の1人
S6	1931	11	27	丸山 英一	大連第二中学校長	英語教育 旅順高等女学校長 農林省水産庁渉外事務連絡担当官
S6	1931	11	27	前田 彦祐	奉天春日小学校長	同行
S6	1931	11	27	安倍 能成	京城帝国大学教授	法文学部 漱石門下の四天王の1人 法政大学教授 第一高等学校長 文部大臣 貴族院議員 学習院院長 平和問題談話会発起人
S6	1931	11	29	田代 訂		
S6	1931	11	29	和辻 春樹		同行 船舶工学者 大型客船の設計 随筆家 京都市市長 観光日本社長 関西造船協会会長 哲学者和辻哲郎の従弟
S6	1931	11	29	井倉 政一		同行
S6	1931	11	29	辻村 偉三		同行
S6	1931	12	10	渡邊 俣治	農林省農務局農林技師	
S6	1931	12	10	石橋 幸雄	帝国農会副参事	同行
S6	1931	12	10	植木 保	長崎県農会技手	同行
S6	1931	12	10	綿貫 哲雄	東京	社会学者 東京文理科科大学教授 東京高等師範学校教授 中央大学、国土館大学教授
S6	1931	12	11	矢口 ==	東京	

S7	1932	1	14	黒田 琢磨	海軍中将	佐世保鎮守府佐世保海軍工廠長
S7	1932	1	14	河東 卓四郎	海軍造船少将	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍工廠造船部長 のち海軍技術中将 九州大学工学部教授
S7	1932	1	14	武石 太郎	海軍造兵大佐	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍工廠造兵部長 のち海軍造兵少将
S7	1932	1	14	大野 俊彦	海軍機関大佐	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍工廠造機部長 のち海軍少将
S7	1932	1	14	熊生 栄	海軍主計大佐	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍工廠会計部長 舞鶴要塞、佐世保海軍經理部長 のち海軍主計少将
S7	1932	1	14	中野 太郎	海軍医大佐	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍工廠医務部長 佐世保、呉、横須賀鎮守府軍医長 のち海軍軍医中将 医務局長
S7	1932	1	14	近藤 憲治	海軍中佐	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍工廠総務部 のち海軍大佐
S7	1932	1	15	小谷 益次郎	仁川	日本人世話会
S7	1932	1	17	伊勢 良男	福岡	
S7	1932	1	17	伊勢 良伸		同行
S7	1932	1	18	神近 市子		政治家 民主婦人協会、自由人権協会設立 衆議院議員 思想家大杉栄の愛人 佐々町出身
S7	1932	1	26		県立長崎高等女学校 専攻科国文科生徒 四十一名史料参観	
S7	1932	1	27	吉田 久兵衛	下関衛戍病院長	2等軍医正
S7	1932	2	5	飯島 滋次郎	京城医学専門学校教授	
S7	1932	2	13	来間 恭	大阪毎日	新聞記者 東大新人会
S7	1932	2	13	中島 秀雄	全	同行
S7	1932	2	16	大野 迪二	長崎市勝山小学校訓導 職員生徒二百三十二人	
S7	1932	2	22	吉雄 永壽		東京築地活版印刷所専務取締役
S7	1932	2	26	中田 邦造	石川県立図書館長	日比谷図書館長 日本図書館協会専務理事
S7	1932	2	27	重野 新平	愛野小学校 外百六名	
S7	1932	2	27	松尾 逸郎	山口県厚狭郡吉田小学校 外六名	
S7	1932	3	11	石田 馨	内務省神社局長	内務官僚 宮崎県、千葉県、神奈川県知事 警視總監 宮内省御用掛
S7	1932	3	13	馬場 鉄一		日本勧業銀行総裁 法制局長官 貴族院議員 大蔵大臣 内務大臣
S7	1932	3	16	難波 理平	農林省農務局	産業組合事務官 畜産局長 飼料公団総裁
S7	1932	3	16	藤間 五郎		同行 農林省農務局産業組合事務属
S7	1932	3	16	原 壽男		同行
S7	1932	3	16	中村 重義	長崎県庁農林課	同行
S7	1932	3	16	岸本 綾夫	陸軍中将	陸軍造兵廠長官 技術本部長 のち陸軍大将 第19代東京市長 満州製鉄理事長在任中 行方不明
S7	1932	3	16	伊東 保生	陸軍砲兵少佐	同行 陸軍造兵廠 陸軍技術本部副官 大阪工廠枚方製造所所長 のち陸軍少将
S7	1932	3	17	久保田 金僊	上海事変従軍写生帰途	日本画家「国民新聞」従軍記者 戦争画製作 本名:久保田吉太郎
S7	1932	3	17	藤川 悦太郎		同行
S7	1932	3	18	高瀬 栄治	西彼杵郡亀岳尋常高等小学校	
S7	1932	3	18	富野 善吉	外児童十六名	同行
S7	1932	3	27	鈴木 鶴吉	東京府立第八中学校教諭	府立第七中学校長
S7	1932	3	28	安楽城 敏男	農林技師	農林省農務局 農林水産委員会事務局常任委員会専門員 農林増殖研究会専門委員
S7	1932	3	31	濱野 力	海軍中佐	佐世保鎮守府佐世保海軍工廠造兵部検査官 海軍技術研究所電気研究部所員 海軍航空技術廠電気部長 のち海軍少将
S7	1932	3	31	西村 雄二	海軍造兵大尉	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍工廠造兵部員 八木アンテナ発明に関与
S7	1932	4	1	Kurtsinger		ハンブルグ
S7	1932	4	4	三田 定則	東京帝国大学教授	法医学 血清学 台北帝国大学総長 岩手医科大学長
S7	1932	4	4	宮水 二而	講師	同行
S7	1932	4	4	石川 哲朗	東北帝国大学教授	同行 東北帝国大学初の法医学教授 法医学近代化に尽力

S7	1932	4	4	古畑 種基	金沢	同行 金沢医科大学教授 法医学 科学警察研究所所長 血液型研究 東京大学名誉教授 東京医科歯科大学医学部長 奥州藤原氏のミイラ鑑定
S7	1932	4	4	加賀谷 勇之助	千葉	同行 千葉医科大学教授 法医学 血清学 俳人 号:凡秋
S7	1932	4	4	世良 完介	熊本	同行 熊本医科大学教授 法医学 水俣病研究班 熊本大学名誉教授
S7	1932	4	4	山上 熊郎		同行 北海道帝国大学医学部教授 法医学 唾液中のAB型発見 三重県立医科大学教授
S7	1932	4	4	西尾 =雄		同行
S7	1932	4	4	唐笠 学	千葉医大	同行 産婦人科 俳人 号:何蝶 北見ピアソン邸保存に尽力
S7	1932	4	4	浅川 小六		同行
S7	1932	4	4	矢野 豊		同行
S7	1932	4	4	玉岡 誠		同行
S7	1932	4	4	野村 雄一	京城帝大	同行
S7	1932	4	4	朱 =勲	"	同行
S7	1932	4	4	牧 = 誠禎	大阪帝大	同行
S7	1932	4	4	松倉 豊治	"	同行 法医学 大阪帝大医学部助手 徳島医学専門学校・徳島大学・大阪大学医学部教授 兵庫医科大学学長 指紋の遺伝学的研究
S7	1932	4	4	速水 =二	京都帝大	同行
S7	1932	4	4	正木 信夫	金沢医大	同行 助手のち教授 法医学 気質と血液型の研究 東京大学教授
S7	1932	4	4	越 = =	金沢	同行
S7	1932	4	4	黒澤 俊祐	札幌	同行
S7	1932	4	17	大島 辰次郎	内務省衛生局長	内務省医務局長 国立公園行政に尽力
S7	1932	4	18	桑木 來吉	文部省図書監修官	図書館
S7	1932	4	18	足立 又彦	鳥海艦装員海軍主計少佐	ニューギニア民政府調査局長 舞鶴軍需部長 第3衣糧隊長 のち海軍主計少将
S7	1932	4	18	石崎 卯蔵	文部技師	文部省大臣官房建築課
S7	1932	4	18	村川 謙雄	副検査官	会計検査院第三部副検査官
S7	1932	4	18	村上 三五	逓信局技師	逓信省熊本逓信局
S7	1932	5	22	島本 初音		
S7	1932	4	25	西 春彦	外務書記官	外務省通商局第1課長 駐ソ公使 外務次官 駐オーストラリア、イギリス大使
S7	1932	4	25	矢口 麓蔵	外務書記生	同行 在米国外使館 スペイン2等書記官 移住局長 参事官 総理庁事務官 チリ大使 第40回文官高等試験合格者同期
S7	1932	4	25	徳永 太郎	"	同行 在ドイツ大使館 ドイツ1等書記官 エチオピア公使 ベネズエラ、チェコスロバキア大使 研修部長
S7	1932	4	25	板垣 修	"	同行 在アメリカ大使館 中国1等書記官 アジア局長 中華民国駐在大使 カナダ大使
S7	1932	4	25	柿坪 正義	"	同行 大東亜省南方事務局事務官 情報文化局長 国連大使 エジプト、スイス大使
S7	1932	4	25	下田 武三	"	同行 在フランス大使館 条約局第1課長 外務事務次官 条約局長 駐アメリカ大使 最高裁判所判事 日本野球機構コミッショナー
S7	1932	4	25	伊関 佑二郎	"	同行 在アメリカ大使館 青島領事 移住局長 連絡局長 アジア局長 国際協力局長 竹島無用論
S7	1932	4	25	河崎 一郎	"	同行 在イギリス大使館 ソ連1等書記官 国際協力局長 アルゼンチン大使 日本人身体的差別発言
S7	1932	4	25	鶴岡 千仞	"	同行 在フランス大使館 スイス1等書記官 条約局長 国際連合局長 初代バチカン大使 国連大使 安全保障理事会議長
S7	1932	4	25	吉岡 武亮	"	同行 在イギリス大使館 青島領事
S7	1932	5	7	足達 =國	愛媛県大洲町	
S7	1932	5	10	齋藤 壽雄	群馬県富岡町	医師 群馬県会議員 衆議院議員 富岡女学校、甘楽キリスト教会設立 小学校の給食普及
S7	1932	5	10	馬場 正男	兵庫県立姫路高等女学校	教諭
S7	1932	5	10	谷澤 不二雄	外百三十二名	同行 教諭



S7	1932	5	14	小出 満二	九州帝国大学教授	農学部 農業史、農業経済、中国農業の研究 兼鹿児島高等農林学校長 東京高等農林学校校長 鯉淵学園初代学園長
S7	1932	5	12	結城 豊太郎	齋藤阿具先生の弟子	日本銀行理事 安田銀行副頭取 安田学園理事長 日本興業銀行総裁 日本商工会議所会頭 大蔵大臣 貴族院議員 日本銀行総裁
S7	1932	5	15	日田 権一	東京高等師範学校教授	文部事務官 奈良女子高等師範学校校長
S7	1932	5	24	石神 今太	九州沖縄八県連合教育会 代議員 鹿児島県教育会常任幹事	
S7	1932	5	24	中島 市作	全 熊本県菊池郡加茂川小学校長 外三拾七名	同行
S7	1932	5	27	和田 兼三郎	福岡県福岡師範学校校長	山形師範学校校長 長崎師範学校校長
S7	1932	6	22	野村 萬作	佐賀県学務課長	内務官僚 宮城県内務部長 奈良県知事
S7	1932	7	8	F・M・Trautz	伯林日独文化協会主事	=Friedrich Max Trautz 独人 ベルリン大学教授 シーボルト研究
S7	1932	7	8	ヒルタ トラウツ		同行 妻
S7	1932	7	15	鄭 梅雄		唐通事の家系で外交官であった鄭永昌の長男。
S7	1932	7	15	芳子		同行 妻
S7	1932	7	15	廣瀬 龍		同行
S7	1932	7	15	栄子		同行
S7	1932	7	15	八重子		同行
S7	1932	7	15	国分 剛二		慶応義塾図書館員 日本十進分類法批判
S7	1932	7	23	田中 重三		
S7	1932	7	26	鈴木 弘一	学習院初等科	明仁親王の担任、戦時中は共に疎開
S7	1932	7	29	西村 淳一郎	大蔵省	大臣官房文書課事務官 理財局国債課長 満州国經濟部次長 大蔵省事務次官
S7	1932	7	29	安江 好治	長崎税関長	大蔵省営繕管財局書記官 国有財産整理局管理課長
S7	1932	8	3	真木 英男	文部省	
S7	1932	8	3	原田 富三郎	大分県中津商業学校教諭	
S7	1932	8	5	土谷 正光	東京市谷刑務所 看守長	堺刑務所長
S7	1932	8	5	小越 政吉	// 看守部長	同行
S7	1932	8	5	徳永 方作	浦上刑務支所 看守長	同行
S7	1932	8	5	本川 與四郎	// 看守部長	同行
S7	1932	8	12	小尾 範治	文部省社会教育局	社会教育官 青年教育課長兼庶務課長
S7	1932	8	18	ラデル	ライデン大学日本文化教授	
S7	1932	8	19	宮本 正清	京都日仏文化協会 関西日仏学館	フランス文学者 立命館大学、大阪市立大学教授 ロマン・ロラン研究所設立・全集の翻訳 京都精華短期大学理事長
S7	1932	8	20	邊見 由太郎	日本銀行門司支店	日本橋教会
S7	1932	9	10	原田 一男	山形市第二小学校	
S7	1932	9	14	光田 作治	京都帝国大学司書	歌人
S7	1932	9	24	三谷 幸吉	印刷研究家	労働運動家 神戸市活版印刷職工組合幹事長 神戸印刷工株式会社専務 印刷紙・印刷業の研究
S7	1932	9	27	横手 千代之助	東京帝国大学名誉教授	衛生学 上海自然科学研究所所長
S7	1932	10	13	鈴木 謙一郎	女子学習院教授	
S7	1932	10	14	細田 一春	長野県西筑摩郡目義小学校職員 外六名	校長
S7	1932	10	14	新方 伊苗吉	東京市田中尋常小学校校長	
S7	1932	10	16	高柴 金一郎	福岡高等学校	教授
S7	1932			宮澤 武司	文部省第四十五回視学講習会 地方学事視察員 文部省	国立国語研究所庶務部長
S7	1932			菅原 金光	秋田県視学	同行 学務部
S7	1932			田中 久雄	樺太庁視学	同行 内務部
S7	1932			松田 繁一	兵庫県視学	同行 学務部

S7	1932		瀧上 宇太郎	京都府視学	同行 学務部 京都府立聾学校長
S7	1932		赤木 将為	宮城県視学	同行 学務部 宮城県立盲啞学校長
S7	1932		武田 昌之	秋田県視学	同行 学務部
S7	1932		吉田 由太郎	北海道視学	同行 留萌支庁
S7	1932		石田 佐々雄	愛媛県視学	同行 学務部 久万尋常高等小学校長 松山市教育課長 黒住教協議会議員
S7	1932		山本 徳蔵	鳥取県視学	同行 学務部 吉岡小学校長 気高郡視学
S7	1932		日下部 亀次郎	岐阜県視学	同行 学務部
S7	1932		谷口 基一	京都府視学	同行 学務部 物理学・化学
S7	1932		樋田 豊太郎	福岡高等学校教授 外十名	同行 法制・経済学